

新体育館に関するこれまでの経過について (第1回～第4回議会報告まとめ)

これまで市議会には、平成29年3月、平成29年9月、平成30年3月、平成30年6月の計4回説明してきました。その内容は下記のとおりです。

【 検討事項 】

新体育館の建設に関すること。

- ① 規模に関すること。
- ② 実施可能種目に関すること。
- ③ 付加する機能に関すること。
- ④ 事業スケジュールに関すること。
- ⑤ 建設候補地に関すること。
- ⑥ その他必要な事項

【 報告内容 】

(1) 基本コンセプトについて

① 「スポーツをする」体育館

市民のスポーツ活動拠点として、市民が日常のスポーツや健康づくりに気軽に使用でき、また、市大会など一定規模の大会の開催が可能な体育館

② 「スポーツをみる」体育館

スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館

③ 「スポーツをささえる」体育館

出雲市体育協会など、市民のスポーツ活動を支える人（団体）の拠点としての体育館

④ 多用途使用に配慮した体育館

スポーツだけでなく、学会や各種団体の会議、展示会等、さらに災害時の避難所など、多用途に使用しやすい体育館

⑤ 人や環境にやさしい体育館

バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、省エネルギー機器を採用するなど、人や環境にやさしい体育館

(2) 実施種目について

市内の体育館において、使用頻度が高い競技種目は次のとおりです。

市内の体育館における主な利用種目	
バスケットボール	卓球
バレーボール	柔道
バドミントン	剣道
ソフトテニス	空手道
フットサル	なぎなた

上記のほか、スポンジテニス、ソフトバレーや各種ニュースポーツ、各種レクリエーションスポーツなど、色々なスポーツ活動が展開されています。

新体育館での実施可能種目については、使用実態をふまえて検討します。

(3) 規模・機能等について

① メインアリーナ

メインアリーナは、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりはもとより、市大会など一定規模の大会の開催も勘案し、次の規模が適切と考えています。

a. アリーナの広さ、天井高

メインアリーナは、バスケットボール、バレーボールの公式コートが、それぞれ同時に2面確保できる広さが必要と考えており、50m×40m程度を想定しています。

天井高については、バレーボール競技に支障がないよう、12.5mは最低必要と考えています。

b. 観客席

観客席については、1,000席～1,500席程度を想定しており、2階に固定席を考えています。

② サブアリーナ

市民の日常的なスポーツ活動やメインアリーナでの大会開催時のことを考慮し、サブアリーナを設置したいと考えています。

a. アリーナの広さ、天井高

バスケットボール、バレーボールの公式コート1面が確保できる広さが必要と考えており、38m×25m程度を想定しています。

天井高については、メインアリーナと同じ12.5mは最低必要と考えています。

なお、サブアリーナには、観客席を設ける必要はないと考えています。

③ 多目的室

各種会議や研修会、軽運動やダンス等、多様なニーズに対応するため、多目的室を設置したいと考えています。

広さについては、100名程度を収容できるものを想定しています。

④ 体育館内のその他施設・設備について

a. 施設関係

- ア 更衣室・選手控室
- イ 会議室
- ウ 大会役員室（審判室）
- エ 放送室
- オ 授乳室
- カ キッズルーム
- キ 医務室
- ク 談話・休憩スペース
- ケ 事務室

b. 設備関係

- ア 冷暖房設備
- イ コンベンション等対応設備（ステージの配備、巻取式フロアシートや大型搬入口の設置など。）

⑤ 駐車場について

駐車場は、観客席の設置数にもよりますが、300台～500台程度と考えています。

⑥ 各種倉庫について

防災倉庫など、各種倉庫の整備が必要と考えています。

⑦ 武道場・トレーニング室について

今回の新体育館建設に係る検討では、武道場、トレーニング室は整備しない考えです。

(4) 事業スケジュールに関すること

現段階で想定している基本スケジュールです。

年度	事業内容	備考
H29(2017)	建設候補地比較検討資料収集業務、 建設候補地（最適地）決定	
H30(2018)	建設用地決定、基本計画策定及び事業手法（P F I等）検討、用地測量・物件調査	
H31(2019)	用地取得、造成設計、文化財調査	
H32(2020)	基本設計、開発協議、敷地造成工事	地盤によっては工期延長の 可能性があります
H33(2021)	敷地造成工事、実施設計	
H34(2022) -H35(2023)	建設工事	H35年度末頃開館

(5) 建設候補地に関すること

平成29年9月議会において、候補地については、必要面積を確保できること、道路や鉄道等の交通アクセスが良いこと、他のスポーツ施設との連携が図りやすいこと、また自治協会等の要望なども考慮のうえ、次の5か所をリストアップしました。そして、今年3月議会において、県立大学出雲キャンパス周辺を最適地として発表。その後、市内部で検討し、地権者の意向調査を行った結果、県立大学出雲キャンパス東側を建設予定地として決定しました。

- 一般企業事業地（大津町）
- 出雲養護学校高松農場（浜町）
- 出雲健康公園周辺
- 県立大学出雲キャンパス周辺
- 一般県道出雲インター線沿線付近（神西地区）

参 考 資 料

◆体育施設整備一覧

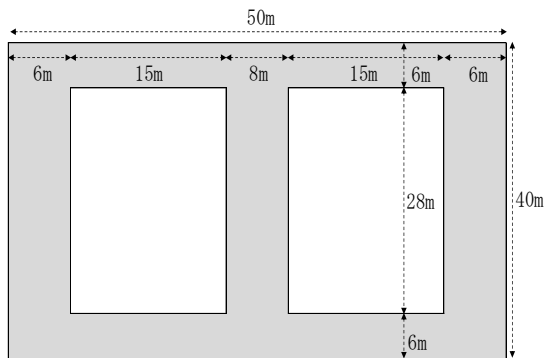
施設名	面 積 等		主な想定球技種目の公式コート数
メインアリーナ	フロア面積	2,000 m ² 程度 (50m×40m)	バスケットボール 2面 バレーボール 2面 バドミントン 10面 卓球 12台
	天井高	12.5m以上	—
	観客席	1,000～1,500 席	—
サブアリーナ	フロア面積	950 m ² 程度 (38m×25m)	バスケットボール 1面 バレーボール 1面 バドミントン 4面 卓球 6台
	天井高	12.5m以上	—
多目的室	面積	150 m ² 程度	各種会議（100名程度収容） 軽運動 エアロビクス ダンス等

参考資料

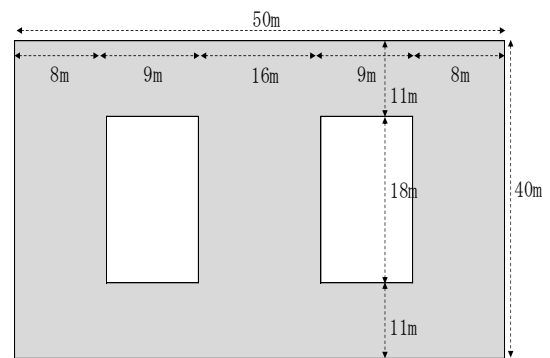
コートレイアウト

1 メインアリーナ (50m×40m)

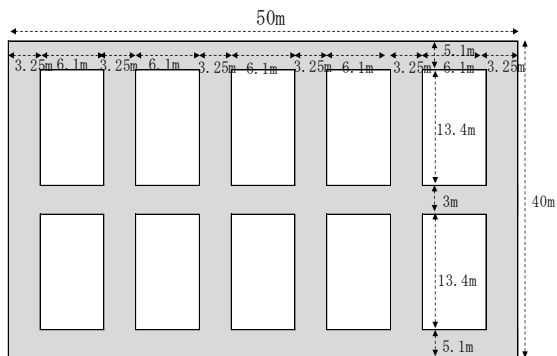
① バスケットボール (2面)



② バレーボール (6人制 2面)

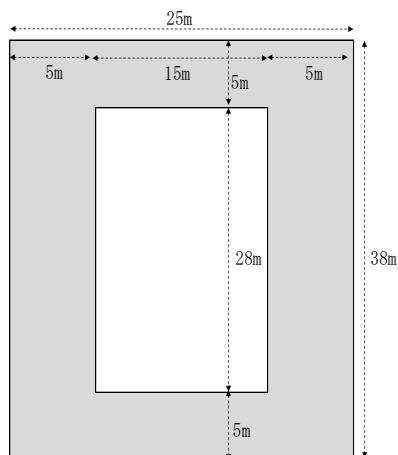


③ バドミントン (10面)



2 サブアリーナ (38m×25m)

① バスケットボール (1面)



② バレーボール (6人制 1面)

